

スーパーな収量性と秀品率を合わせもつ中生わくわくコーン

(一代交配) トウモロコシ

わくわくコーンTM86スーパー

Sweet Corn, Wakuwaku Corn 86 Super Hybrid



カネコ種苗株式会社

TEL. 027 (251) 1611 (代)

スーパーな収量性と秀品率を合わせもつ中生わくわくコーン

(一代交配) トウモロコシ わくわくコーン86スーパーTM

Sweet Corn, Wakuwaku Corn 86 Super Hybrid

●特 性●

- (1) マルチ～露地栽培に適する生育日数85～86日程度の中生イエローコーンです。
- (2) 雌穂は大型で収量性が高く、先端不稔が少ないです。
- (3) 包皮濃緑で、先端露出も少なく荷姿の見栄えが良いです。
- (4) 生育旺盛で倒伏に強く、栽培しやすい品種です。
- (5) 粒皮は柔らかく爽やかな食味で、しなびには比較的強いです。

●栽培要点●

(1) 播種適期

本品種は中生なので、トンネル～露地栽培まで広く栽培できますが、極端な早まきは発芽不良や穂長が短くなる傾向にあるので、適期栽培をお願いします。

(2) 圃場準備と施肥

排水が良く、有機質に富んだ、肥沃で乾燥しにくい圃場が適します。播種の2週間前までには、10a当たり完熟堆肥2t、苦土石灰100kg、熔燐60kgを施用し、深耕しておきます。

元肥として、化成肥料をN・P・Kの成分量で25・25・25kg/10aを施用します(トンネル栽培の場合は20%程度増量します)。元肥一発肥料のベストマッチ肥料を使うと生育が良くそりい、肥大期まで肥切れなく大きな穂の収穫が期待できます。

(3) ベッド作りと栽植本数

栽植本数は、3,500～4,000株/10a(平均畦幅80cm・株間30cm)程度にします。例として、9230マルチなどを使い、ベッド間は80cm程度にします。ベッド間を広く取ると受光面積が拡大し穂が大きくなる他、薬剤散布や収穫作業が容易になります。

寒冷期の作型では、マルチを用いて地温を上げ、発芽不良に注意をします。トンネル資材は、有孔ポリや穴なしなどを時期によって使い分けます。

(4) 播種

地温13℃以上を目安として、1穴3粒程度播種します。

育苗をする場合は、根傷みに注意してできるだけ深いトレイを使用し、2～2.5葉期頃に定植します。活着不良が起こると、生育不良につながり、小穂の発生や開花期のずれ等による不稔の原因になるので、保水と保温に努めます。

(5) 間引きと追肥

3～5葉期に、残す株の根を傷めないようにはさみ等で切って間引きをし、1株立ちにします。追肥は、膝丈期と雄穂出穂期に、N・K成分で各5kg/10a程度行います。

(6) 除けつと除房

分けつ枝からは、栄養分が転流されて穂が大きくなる他、分けつ枝があることで根張りも良くなり、倒伏防止にもつながります。したがって除けつせず、残しておくことをおすすめします。また絹糸抽出後、早いうちに一番上の穂だけ残して除房すると穂が大きくなります。

(7) 害虫防除

穂や莖に食い込むアワノメイガやオオタバコガ、穂の汚れ等を招くアブラムシへの防除の薬剤を、雄穂抽出期から1～3回程度散布します。特にトンネル栽培以降は、虫害が増えるので、念入りに防除します。

(8) 収穫

絹糸抽出後、20～25日頃が収穫適期です。過熟だとしなびてしまうので、特に暑い時期の収穫は試しもぎをして収穫適期を逃さないように努めます。

なるべく早朝に採り、甘さが保持できるように低温保存にて出荷します。

※「ベストマッチ」肥料のお問い合わせはこちらまで。
カネコ種苗(株) 農薬部肥料推進グループ TEL027(251)1616

●栽培作型●

		2	3	4	5	6	7	8	9
冷涼地	マルチ				○	○	▨	▨	▨
	トンネル		○	○	○	▨	▨		
中間地	マルチ			○	○	▨	▨	▨	
	露地			○	○	▨	▨	▨	
暖地	トンネル	○	○	○	○	▨	▨		
	マルチ		○	○	○	▨	▨		

○・○ 播種期 — 生育期 ▨ 収穫期 ◯ トンネル

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12
TEL. 027(251)1611(代)



取扱店